

## 令和3年度 第3回 磐田市地域公共交通会議の書面議決結果

### 1 書面議決結果

議案	表決（全委員 19 名）			結果
	承認	不承認	未回答	
議案第1号 デマンド型乗合タクシーの指定施設の追加について	19	0	0	可決
報告第1号 磐田市地域公共交通計画（案）（中間報告）について	—	—	—	

### 2 意見等

議案第1号 デマンド型乗合タクシーの指定施設の追加について  
意見等 なし

報告第1号 磐田市地域公共交通計画（案）（中間報告）について

#### 【ボランティア運送について】

- ・ボランティア運送を導入する場合、担い手の継続など長期的な視点をもって取り組んでほしい。
- ・ボランティア運送の具体例を知りたい。内容についての説明がほしい。

#### 【路線バス】

- ・御厨駅へのバスの乗り入れは必要と思う。
- ・起点となる JR の駅を中心に公共交通機関（バス）の運行を継続的に考えていただきたい。御厨駅にもバスの乗り入れがあれば、アクセスが良くなることで、JR や民間バスともに利用が広がると思う。
- ・豊田地区や東部地区の幹線バス路線の導入は、検討してもよいと思う。
- ・路線バスの利用者は、コロナ以前より減少傾向が続いており、事業者の経費削減等の自助努力には限界がある。公共交通軸の維持・拡充のためには、路線再編（バス以外のモードとの共存）、行政による補助の拡充に加え、民間事業者路線と行政の自主運行路線のすみ分けも検討する必要がある。
- ・バスを利用しない理由に、バス停までの距離が遠いことが挙げられている。バス停の近くに駐輪場等が整備されれば、改善される可能性はあると思う。
- ・鉄道駅までは利用者が自転車等で出掛ける割合が高く、路線バスにおいても幹線となる路線やバス停については、増便や定時制を確保するとともに、屋根が完備された駐輪場の設置が利用増につながると思うので、パークアンドライドの環境整備が必要と思う。

### 【自主運行バスについて】

- ・“バスルートからはずれた人口密度が高い地域や高齢化率が高い地区”への具体的な対策を検討しなければならないと思う。旧豊田町時代の自主運行バスは、町内の路地的なルートをくまなく走っていたと記憶しているが、この様な視点も必要と思う。
- ・自主運行バスの廃止の経緯と導入の経緯を検証し、今後の自主運行バスを導入する際の参考にしてほしい。

### 【デマンド型乗合タクシーについて】

- ・今後もデマンド型乗合タクシーの利便性向上のための施策をお願いしたい。
- ・登録者数は少しずつ増えているが、デマンド型乗合タクシーの運行区域と生活圏域は少し異なる。生活圏に近づけた運行の拡大を希望する。
- ・デマンド型乗合タクシーは利便性に地域差や不満があり、一般乗用タクシーを使うように自由に利用したいと望む市民が多い中、誰もが満足する形にしていくのは至難の業である。利便性という点で、利用目的、利用対象、運営方法等根本から考え直す必要があるかもしれない。
- ・交通事業者ニーズについて、「午後の時間帯での新規施策を検討中（貨物、デマンド増便、区域越境運行）」とあり、便数など改善する余地があると事業者側も考えていると理解した。
- ・制度そのものの理解が不足しているように思う。周知の仕方を検討してほしい。
- ・制度に制約があることはやむを得ないと思う。現在の地区外の指定施設についての考え方（ガイドライン）でよいと思う。指定施設以外は、他の公共交通の利用をお願いする。

### 【その他】

- ・表紙の年月は、元号と西暦との併記が望ましい。
- ・タクシー券等の施策についても計画に記載してほしい。
- ・今後の公共交通の利用増加は見込めず、減少傾向は避けられないと思う。少しでも減少傾向に歯止めをかけ、反転攻勢させるためには思い切った施策・工夫が必要と思う。  
例：市公共施設（市立総合病院、新市民文化会館、なぎの木会館等）の駐車場利用の一部有料化。
- ・公共交通機関（バス）利用促進キャンペーンの定期的な実施。
- ・地域公共交通に対して多種多様な要望をどのように集約していくか、住民にどのように納得してもらえるものにするか、気の遠くなるような議論の積み重ねや作業が必要で、難しい計画策定になると思う。
- ・磐田駅を中心とした公共交通網を理解していたが、竜洋（掛塚）や豊岡では磐田駅周辺は遠い場所であり、浜松や浜北へのアクセスを重視している。その地区の住民の公共交通とは何か考えさせられる。
- ・「次世代モビリティサービスの展開」、「MaaSの導入」について説明がほしい。

- ・次世代モビリティサービスの活用や MaaS も最終的な目的地とすべきだが、そこに至るまでの経過措置として、ボランティア運送や自主運行型循環バスの復活を検討してもよいと思う（交通弱者対策のみならず、人口減少・流出抑止のためにも）。